

1 産業技術センターの概要

1-1 沿革

- 平成10年4月 機構改革により鳥取県工業試験場と鳥取県食品加工研究所を組織統合し、1課、1室、2部、7科制の組織で鳥取県産業技術センターとして発足
- 平成12年4月 鳥取庁舎（鳥取市若葉台南七丁目1-1）新築移転
- 平成15年4月 機構改革により機械素材研究所（米子市）及び食品開発研究所（境港市）を設置
- 平成16年4月 機構改革により本庁機関、鳥取県商工労働部産業技術センターとなる。
機械素材研究所（米子市日下1239）移転 産業創出支援館開所
- 平成19年3月 食品開発研究所高機能開発支援棟完成

（旧鳥取県工業試験場の沿革）

- 大正12年4月 農商務大臣から認可。県庁内に事務所を設置。
- 〃 13年2月 鳥取市西町373に本庁舎完成。庶務、醸造、製紙の三部制。
- 〃 14年11月 津ノ井分場設置（岩美郡津ノ井村）窯業部を置く。
- 昭和3年3月 染織部を本場に設置（大正6年県庁内に染織作業室設置）。
- 〃 5年4月 商品陳列所西町89と合併し、鳥取県商工奨励館と改称。木工部と陳列部を新設。
- 〃 5年7月 染織部（西伯郡中浜村）移転。
- 〃 16年11月 製紙部機械製紙分場（気高郡宝木村）を設置。
- 〃 17年4月 木工部を独立分離し鳥取県木工指導所設置。陳列部は廃止。醸造、製紙の二部は西町89番地に移転。
- 〃 18年9月 鳥取地方大震災のため本場庁舎及び津ノ井窯業部庁舎倒壊。
- 〃 19年6月 染織部（戦時強制疎開措置）閉鎖。
- 〃 19年7月 商工奨励館と木工指導所を合併し鳥取県工業指導所と改称。庶務、醸造、製紙、窯業、木工、染織の六部門。
- 〃 20年6月 鳥取県工業指導所旧位置（鳥取市西町373 戦時強制疎開）に移転。
- 〃 20年10月 製紙部機械製紙分場を廃止。
- 〃 22年11月 鳥取県工業試験場（県告示第145号）と改称。
- 〃 23年9月 製紙部試験施設（鳥取市西町373）復旧。
- 〃 23年12月 窯業部試験施設（岩美郡津ノ井村）復旧。
- 〃 24年3月 染織部試験施設（西伯郡中浜村）復旧。
- 〃 24年9月 工芸図案部を設置。
- 〃 25年11月 醸造部の分析施設復旧。
- 〃 26年4月 木工部を独立分離し鳥取県木材工業指導所設置。
- 〃 27年4月 鳥取大火のため本場庁舎焼失。
- 〃 28年11月 本場庁舎（鳥取県西品治371）復旧竣工。
- 〃 31年5月 鳥取県木材工業指導所を廃止（木材工業部）。
- 〃 32年3月 津ノ井分場廃止（窯業部門は本場へ）。
- 〃 32年7月 境港分場（境港市新屋86）を設置。
- 〃 38年5月 機構改革、各部はそれぞれ科に改称。
- 〃 44年11月 境港分場本館改築。
- 〃 45年4月 機械金属部門の米子分場（米子市糺町160）を設置。
- 〃 46年3月 境港分場試験研究棟改築。
- 〃 46年3月 米子分場（米子市夜見町新開6）新庁舎竣工。
- 〃 50年6月 化学科を醸造科、製紙科の二科に分離。
- 〃 53年3月 本場（鳥取市秋里390）新庁舎竣工。木材工業科を本場内に移転。
- 〃 53年3月 米子分場に鋳物溶接研究棟を増設。
- 〃 53年4月 醸造科から調味食品部門を食品加工研究所へ移管し、酒類科に改称。
- 〃 54年10月 米子分場に熱処理研究棟を増設。
- 〃 57年4月 次長制新設。
- 〃 62年6月 応用電子科を設置。
- 〃 63年4月 米子分場及び境港分場を生産技術科に、産業工芸科に情報部門を新設して技術情報科に、酒類科、製紙科及び木材工業科を統合して特産技術科とする機構改革を行う。（総務課、技術情報科、特産技術科、応用電子科、生産技術科）
- 平成3年3月 生産技術科に先端技術開放試験室を設置。
- 〃 5年11月 創立70周年記念式典（県立県民文化会館にて）挙行。
- 平成10年4月 機構改革により食品加工研究所と組織統合し、産業技術センターとして発足

（旧鳥取県食品加工研究所の沿革）

- 昭和23年5月 農産加工所として米子市旗ヶ崎に創立
- 昭和38年5月 境港市渡町に新築移転
- 昭和41年4月 食品加工研究所と改称
- 昭和47年11月 農林部から商工労働部へ所管換
- 昭和53年3月 現在地（境港市中野町2032番地1）に新築移転
- 昭和53年4月 工業試験場醸造関係事務一部移管
研究組織を二科制（研究一科、研究二科）
- 平成10年4月 機構改革により工業試験場と組織統合し、産業技術センターとして発足

1-2 土地・建物（平成18年4月1日現在）

◇総務課

◇研究企画室

研究企画担当、産業デザイン担当

プロジェクト担当、体制整備担当

◇技術開発室

応用電子科・有機材料科

〒689-1112 鳥取市若葉台南7丁目1-1

TEL:0857-38-6200 FAX:0857-38-6210

◇機械素材研究所

生産システム科（弓浜がすり伝承館）・無機材料科

〒689-3522 米子市日下1239

TEL:0859-37-1811 FAX:0859-37-1823

◇食品開発研究所

食品技術科・応用生物科

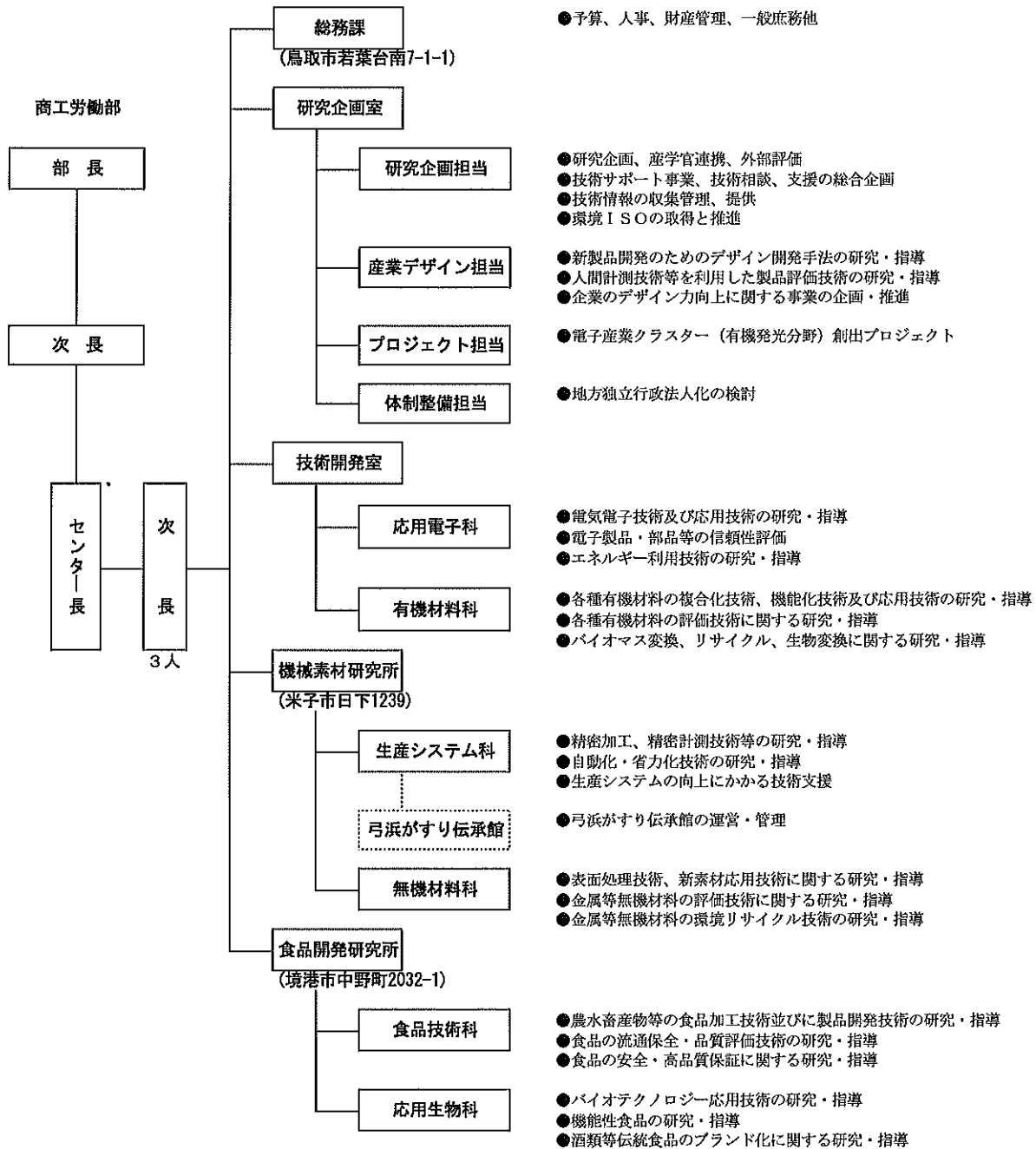
〒684-0041 境港市中野町2032番地1

TEL:0859-44-6121 FAX:0859-44-0397

区 分	所 在 地	規 模
総 務 課 研 究 企 画 室 企 画 担 当 産 業 デ ザ イ ン 担 当 プ ロ ジ ェ ク ト 担 当 技 術 開 発 室 応 用 電 子 科 有 機 材 料 科	〒689-1112 鳥取市若葉台南7丁目1-1 電 話 0857-38-6200 ファクシミリ 0857-38-6210	敷地面積 22,245㎡ 建物延面積 8,522㎡ うち管理棟：鉄筋コンクリート3階 建て 2,062㎡ 研究棟：鉄筋コンクリート地上3階 地下1階 3,455㎡
機 械 素 材 研 究 所 生 産 シ ス テ ム 科 無 機 材 料 科	〒689-3522 米子市日下1239 電 話 0859-37-1811 ファクシミリ 0859-37-1823	敷地面積 55,193㎡ 建物延面積 11,313㎡
食 品 開 発 研 究 所 食 品 技 術 科 応 用 生 物 科	〒684-0041 境港市中野町2032番地1 電 話 0857-44-6121 ファクシミリ 0859-44-0397	敷地面積 5,100㎡ 建物延面積 1,977㎡ うち管理棟：鉄筋コンクリート造 2階建て 1,599㎡ 実験棟：鉄骨造・平家建 288㎡
弓 浜 が す り 伝 承 館 （生産システム科）	〒684-0851 境港市麦垣町86番地2 電 話 0859-45-0926	敷地面積 2,830㎡ 建物延面積 523㎡ うち管理棟：コンクリートブロック 造平屋建て 120㎡

URL <http://www.toriton.or.jp/~T-sgc/>

1-3 組織・事務分掌（平成18年4月1日現在）



1-5 平成18年度歳入・歳出決算の状況

(歳入)

(単位：円)

科 目		予算額(a)	収入済額(b)	差引(b)-(a)	説 明
歳 出 充 当 財 源	受託事業収入	25,863,000	24,701,758	△1,161,242	
	(1)技術サポートセンター事業受託事業収入	2,000,000	2,023,000	23,000	
	(2)(財)鳥取県産業振興機構受託事業収入	20,438,000	20,021,258	△416,742	地域新生コンソーシアム研究開発事業 キトサン金属複合体を基材とした 環境適合型総合防汚剤の開発 132,300 MEMS技術を用いたモバイル 用超小型2軸ジャイロセンサの 開発 518,258
					都市エリア産学官連携促進事業 ①ヒト人工染色体を利用した機能 性評価技術の開発 ②水産資源からの機能性食品素材 ・食品の開発 18,272,503
					産学連携製造中核人材育成事業 液晶ディスプレイ関連産業におけ る中核人材育成 1,098,197
	(3)(独)中央水産研 究所受託事業収入	2,425,000	2,500,000	75,000	大型クラゲの新規食品素材化に関 する研究 2,500,000
	(4)(財)中国技術振 興センター受託事 業収入	1,000,000	157,500	△842,500	地域新生コンソーシアム研究開発事業 接合面・摺動面の表面制御によ る高性能難削材加工機械の研究 開発 157,500
	商工使用料	10,439,000	18,923,833	8,484,833	機器、起業化支援室、会議室 使用料
	商工手数料	2,680,000	3,131,990	451,990	分析、試験、測定、加工、写 真デザイン手数料
	雑 入	10,461,000	11,242,128	781,128	①産業技術センター機器整備 事業 8,872,500 ②技術サポートセンター事業 研修等受講料 1,550,500 ②起業化支援室等電気料 580,901 ③雇用保険 238,227
	財産売払収入	25,000	31,500	6,500	不用備品処分売払
	商 工 債	124,000,000	145,700,000	21,700,000	食品開発研究所整備事業
	一 般 財 源	400,103,480	333,896,654	△66,206,826	
合 計		573,571,480	537,627,863	35,943,617	
歳出財源充当外 財産貸付収入		63,000	179,469	116,469	熱処理施設設備貸付料 63,000 特許実施料 116,469
行政財産使用料		5,600,000	5,873,084	273,084	施設使用料
延 滞 金		0	800	800	
雑 入		90,000	376,262	286,262	自動販売機手数料、電気代ほか

(歳出)

(単位：円)

科 目	予算額(a)	支出済額(b)	差引(a)-(b)	説 明	
産業技術センター費	530,703,000	497,097,436	33,605,564		
その 他 の 令 達	①財産管理費 ②計画調査費 ③労政総務費 ④商業振興費 ⑤工鉱業総務費 ⑥中小企業振興費	2,069,550 3,000,000 126,000 252,000 3,599,256 3,542,801	2,069,550 3,000,000 126,000 252,000 3,599,256 3,542,801	0 0 0 0 0 0	庁舎修繕 とっとり発環境・食品産業ｸﾞﾙｰﾌﾟ推進事業 需用費 需用費 児童手当、臨時職員賃金・共 済費 特許出願・審査請求委託料 他
中小企業振興費	42,558,000	40,219,947	2,338,053		
内、日本自転車振興会補助事業	17,745,000	17,745,000	0	機器整備費(1/2補助)	
一般管理費	310,480	310,480	0	職員旅費	

1-6 平成18年度新設の主要機器

機器名	型式等	メーカー	管理科 (予算区分)	用途
形状測定顕微鏡	VK-9500 Generation II 他	(株) キーエンス	無機材料科 (日本自転車振興会補助事業)	微細加工部品の寸法・形状を非接触で測定し、高精度な形状観察・評価・解析を行う。
フーリエ変換式赤外顕微システム	Spectrum 100	(株) パーキンエルマー ジャパン	有機材料科	①有機物の同定 ②薄膜材料の同定および構造解析 ③電気・電子機器及び部品等の表面または内部にある微小異物の観察 ④塗膜などコーティング材の分析 ⑤その他、製品・部品中に存在する有機物の分析など
マルチ入力データ収集システム	NR-600 NR-U60 他	(株) キーエンス	有機材料科	ひずみゲージや熱電対など各種センサー類を用い、プラスチック製品や木製品をはじめとする様々な工業製品の変形の様子、破壊形態を測定・記録、波形のモニタリングを行う。
機能性糖鎖物性評価システム	Sigma 701 他	KSV/アルテックアルト(株)	有機材料科	機能性糖鎖の諸物性(表面張力、臨界ミセル濃度、表面膜厚など)の測定を行う。
超高温短時間殺菌装置	超高温瞬間滅菌装置(小型テスト機)	(株) クレハエンジニアリング	食品技術科	コラーゲン、キトサン、フコイダンなどの新規機能性素材や果汁・ピューレ等について高品質を維持した殺菌条件の検討に使用する。
過熱水蒸気発生装置	SO-0935S	清本鉄鋼所(株)	食品技術科	過熱水蒸気を多水分系感想物(あんぼ柿)、カタクチイワシ、ホタルイカ、ベニズワイ等に吹き付けて表面の殺菌や乾燥、加熱等の新たな加工方法を検討し、新製品を開発する。
裏ごし機	PFRT-200型	(有) セイケンエンジニアリング	食品技術科	青果(ウメ、ナシ、トマト等)の核及び果皮と果肉の分離や果汁、ペースト製造の他、スープ、穀類等の裏ごしとして使用し、各種試験研究素材の調整に用いる。
インパルスシーラー	AZ-450ES	インツライズ	食品技術科	クリーンルーム内で殺菌した食品や、加熱殺菌後冷却された食品をクリーンルーム内で無菌的に包装するために使用する。
クリーンルーム	ECB02-302020T7 他	日本エアテック	食品技術科	清浄な作業空間において加熱殺菌した食品の冷却、包装などを行うために使用する。

機 器 名	型 式 等	メーカ－	管理科 (予算区分)	用途
オゾン水処理システム	SAT-018GW2	三協エアテック(株)	食品技術科	オゾン水を生成して畜水産物の原料および器具などの殺菌、洗浄に使用する。
恒温恒湿飼育装置	KN-734-A 他	(株)夏目製作所	応用生物科	一般空調設備の実験室でSPF動物やヌードマウスの飼育、観察、実験を可能にするオールフレッシュ式空調装置付クリーンラックによる実験動物の飼育に使用する。
動物実験用滅菌装置	DVS-602 他	ヤマト科学(株)	応用生物科	動物実験で使用したケージや器具類を洗浄、乾燥した後、高圧蒸気滅菌または乾燥滅菌処理する。
生体試料処理システム	BHC-1306IIA TS1F-HM-1 他	日本エアテック(株) (株)ニコン 他	応用生物科	マウスやラットなどの実験動物からの細胞や血液などの採取、採取した初代細胞などの培養や機能性評価のための実験を行う。
マルチモードマイクロプレートリーダー	インフィニット200 (Infinite F200)	テカンジャパン 和光純薬	応用生物科	機能性成分の添加による細胞の変化を高感度で検出できる装置。ごく微量の発光、蛍光を測定可能であり、細胞の産生する各種代謝物を検出することにより細胞機能解析、有効成分の探索などを行うことができる。
動物実験用超純水製造装置	純水/超純水製造システム EQS-5Lシステム	日本ミリポア(株)	応用生物科	動物実験で使用する試薬類の調整、動物から採取した細胞などを培養するための培地調整、動物の飼育管理等に必要な純水、超純水を供給する。
ドラムドライヤー	JM-T	ジョンソンボイラ(株)	応用生物科	食品の乾燥において、高粘度の液状物・おから状・味噌状のような通気性の悪いものの乾燥に使用する。
リアルタイムPCR装置	ABI 7500-Bシステム	アプライドバイオシステムズジャパン(株)	応用生物科	遺伝子の変化量を測定することで、食品中に含まれる機能性成分が、生活習慣病などにかかわる遺伝子にどのように影響するかを測定する。
溶媒回収型抽出装置	溶媒回収型真空ポンプ、冷却水循環装置、ロータリーエバポレータ		食品開発研究所	化学実験を行う際に用いる溶媒回収型のエバポレータ

1-7 食品開発研究所整備

今までの老朽化、狭隘化した施設では本県独自の固有技術（氷温、キチン・キトサン等）を活かした新しい技術や機能性食品を開発するのが難しいため、「高機能開発支援棟」を増築した。

平成19年3月9日に「高機能開発支援棟」が完成し、3月22日には開所式を行い関係者へ披露した。

「高機能開発支援棟」の概要

(1) 概要

名称 「高機能開発支援棟」
構造 鉄筋プレハブ造 平屋建
延べ面積 499.7㎡

(2) 主な施設及び機能

【起業化支援室】

- ・企業のインキュベーションルーム（貸研究・事務室 2室）。

【動物実験室】

- ・動物実験による食品の健康機能性評価が可能。

【高品質加工支援室】

- ・HACCPを考慮した無菌充填実験などの高品質加工食品試作試験が可能。

【畜水産物低温加工室】

- ・低温下で行う魚介類や畜肉等の高鮮度、高品質加工食品の試作研究が可能。

1-8 地方独立行政法人化準備

平成19年4月1日に法人を設立することとして、産業技術センターの地方独立行政法人化の準備を行った。

- ・地方独立行政法人会計の財務会計システム、給与システム等の構築
- ・出資財産の鑑定評価、建物表示登記委託
- ・専門機関（(社)鳥取県産業環境協会）による労働安全衛生管理に係る調査及び指導
- ・不用品処分（廃備品、不用薬品）